



全教一斉にをいがけデー



《昨年の十勝支部
教会長路傍講演の様様》



第540号
発行所
天理教北海道教務支庁
札幌市中央区南8条西11丁目
電話011(561)-1148
FAX 011(561)-1190
E-mail:kyouku-h@vega.ocn.ne.jp
印刷
三浦印刷株式会社

9月は『にをいがけ強調の月』 《一斉活動日》 9月28、29、30日

(28日は教会長路傍講演の日)

天理教基礎講座 《北海道会場》

- 9月24日(日)★釧根支部会場
- 10月1日(日)★天龍支部会場
- 10月29日(日)★倶知安支部会場
- 12月3日(日)★教務支庁会場

「天理教を学ぶ会」 第1回公開講座開催

北海道教区「天理教を学ぶ会」では、8月7日、佐藤浩司・天理大学名誉教授(上川支部・花畔分教会所属)をお招きし、教務支庁大会議室において、第1回公開講座を開催した。受講者数45名。

当会は、信仰実践の場と、天理教長年の成果を架橋する試みとして、ちょうど1年前の同じ日に発会した。西垣教区長の開講挨拶に続いて、佐藤先生が「天理教について」と題し、教学の概要と教理研究の基本姿勢について80分間講演をされ、休憩の後40分間、活発な質疑応答が行われ、質問は各分野約20問に及んだ。なお資料として本講座のレジメのほかに、以前に先生が執筆された『教理研究の基本姿勢』(「あらかとよりよう」一〇七号)、『天理教学参考文献』(2017年版)が配布された。

この度は第1回目ということで、先生には総論的なお話を依頼しましたが、次回からは各論ということになり、なるべく早い時期に開講する予定です。右記資料をご希望の方は、代表までご一報ください。

(代表 荒川善孝・小樽支部・板山分)



学生ひのきしんday 開催日時・場所

- 9月10日 日高ブロック
9時から12時→静内ケアサービスセンター
担当者・大脇直丸・090-9523-3910
- 9月30日 空知・南空知ブロック
10時→アルテピアッツァ
担当者・井谷歩矢・090-8277-1238
- 9月30日 十勝ブロック 十勝川河川敷
担当者・佐藤 均・080-9665-2225
- 10月1日 小樽・倶知安・余市ブロック
9時→小樽天理教館
担当者・高橋清彦・090-1733-0102
- 10月1日 札幌4支部・千恵広ブロック
10時→教務支庁
担当者・大友善一・090-1141-7191
- 10月14日 上川・旭川ブロック
11時→旭川市民文化会館
担当者・笹谷浩史・090-1152-9549

おぢばで見つけた 大きな宝

少ひ隊総括



緊張と不安の面持で過ごしていた隊員でしたが、カウンセラー、サブカウンセラーの方々、神様が子供たちの不安をとって下さるといふ、おたすけの在りかたを感じ、子供達には、地元に戻ってからもこの感動を忘れず、周りに伝えてくれるように話をしました。

「感謝のつどい」で真柱様から「どうか、ここで経験したことを活かして、普段の生活へ戻ってからも、親神様のお心に応えられるような人になる努力を続けてもらいたい」とお言葉を頂きました。それぞれがおぢばで見つけ、感じた何かを、少しでも多くの仲間伝えてもらえればと思います。

最後にお力添えを頂いた多くの皆様に、心よりお礼を申し上げます。

【参加者】 隊員32名
カウンセラー・サブカン14名
スタッフ6名 計52名
(団長・久米田忠彦)

《感想文》

■中3 山田みさと(札幌白豊)
3回目の少年ひのきしん隊では、班長という役を頂きました。

班員をまとめられるか不安でしたが、同じ人ばかりと話してないか、問題がないか声をかけていると、全員が笑顔でひのきしんをし、元気に歩いてくれていて、不安は消えて、とても楽しくなってきました。カウンセラーさんや男子とも話せる機会があり、人とのつながりが広がったと思います。この経験を学校で活かしたいと思います。

ひのきしんに入る前、腕を負傷しました。腫れがひどくて、御供さんを頂いたり、毎晩おさづけを取り次いで頂き、早く治るよう祈ってくれて、すっかり治り親神様の力を感じ、より一層ひのきしんに励めました。おぢばだからやれる、ここじゃないとやらない、という気持ちは消えて、いつでも、どこでもひのきしんに励もうと思えました。

■中3 芦野愛花(上川)
最初は不安だらけで、一人では孤立しないか、大きな声でひのきしんできるか、色々考えていました。が、実際に入ってみると、みんな優しく話しかけてくれて、安心してました。そもそも私は、会長さんや親に言われたから、しぶしぶ参加したのですが、とても楽しめて、入ってよかったです。

カウンセラーさんは、時に優しく、時には厳しく接してくれて、とても心が安らぐ存在でした。この体験を活かして、みんなと助け合うこと、物を大切に



天理教教会本

することが、生きる喜びを味わいながら、日々のおつとめに力を入れていきたいです。

■中2 高橋つむぎ(室蘭)
少ひは2回目の参加で、班内では初めての子が多く、なじめるかなあとか、不安もありましたが、みんなとても明るくて、皆さんの友達ができて、活動が楽しみになりました。

お茶接待では、大きな声を出し、笑顔でやりました。けれど、なかなかお茶をもらってうれなかったりして悩みました。

が、笑顔を忘れず、大きな声で続けて、たくさんの笑顔を頂きました。今回副班長として、みんなをまとめることができませんでした。昨年よりは大きな声で、行進や点呼ができて良かったです。チャンスがあれば、来年も行きたいと思います。

■中2 吉岡 桜(南空知)
今回、私が少ひに参加しようと思ったのは、ずっと偏頭痛で学校を休んでいたもので、少しでも元気になればいいなと思い参加しました。

■中1 福田哲稀(十勝)
今回少ひに初めて参加して、人にしてもらって喜ぶのではなく、人にしてあげて喜ぶ、ということを学びました。最初は、親にいやいや行かされて、めんどくせーなあと思っていましたが、今では、友達ができて、とても楽しい思い出ができたなと思います。来年も行きたいです。

今年も来たいと思います。

過日テレビでインドの富裕層の話題を見た。それは、彼らが自分につける時計など装飾品は独自の物を作るのが流行しているというのであった。高価に目もくれずダイヤや金をちりばめて、この世に一つしかないというオリジナル製品だというのである。それを身につけて優越感に浸って得意満面としている姿が写り出されていたのであった。インドは世界的に見てまだまだ多くの貧困の人々の国である。私はそのアンバランスを強く感じ、一握りの人たちの姿に淋しい心情を持った。

話は変わるが、東芝の社長、会長を経て日本経団連会長をつとめられた土光敏夫氏は、時の首相の要請で臨時行政調査会会長になり、国鉄民営化をはじめとする行政改革に多大の貢献をした人である。その氏の朝食のおかずはメザシ三匹とかいわれて有名になった人だが、その実生活のすべて質素であったという。反面、世のための寄付行為は多にされていて、しかもそれを心から喜んでされていたという。

土光氏のこの信念、行為はど

こからきているのか。それは母親の信念、行為に傾倒されているのである。氏の母親は大変な教育者で、当時としては遅れている女子の教育に尽力されて、世に先駆けて女学校を設立された人であった。

その母親の人生哲学は「社会

『教理随想 十七』

心の調和

木岡 昭

心の持主である。豊かな心である。これこそ徳のそなわった心の人といふべきであろう。

私は感動し多に教えられた。そして氏の母親が自分の後ろ姿を見せて教育された真実と信念に頭を垂れた。これぞ教祖の思召し通りである。

人間は生れ出されたら誰もが求める心を与えられている。これがなければ生きていけない。ところが誰もが同時に与える心も内在されて生かされているのだ。これは、すべて求める心だけで突き進めば必ず破滅の人生が訪れることの示唆でもある。二つ一つが天の理で、求める心、与える心の両方が必要で、そのよりよい調和が求められる。だが人の心は、求める心の喜びよりは、与える心の喜びの方が真に充実したがすがしい心持ちとなるだろう。

土光氏はこの信念が身に備わって実践されて本当に充実した人生であったとの事である。社会が豊かになるために自分は質素に努力をし、それで充足出来るという事は素晴らしい

「次の活動に活かせる行事を」

千恵広支部長 岩谷 清隆



千恵広支部は昭和40年後半まで札幌支部内の教会、布教所として、その後、中南支部内として3年、その後千恵広支部として現在に至って、早いもので本年度41年を迎え、私は支部長として三代目に当たりますが、支部役員、教会、布教所、信者の皆様のご協力を頂き、支部の行事を無事にいろいろと勤めさせて頂いた事に対し、厚く御礼を申し上げます。前支部長先生より、支部長として御用を勤めるようにご使命を頂いて13年、変わらず私のような者を長年支え続けて下さった役職の先生方のご協力があったればこそで感謝で一杯でございます。

行事を勇んで勤めることはもちろんですが、勤めさせて頂いた行事を通して、次の活動に活かせるように、横の連携が支部としての特色ではないかと、喜

ばせて頂いております。6月に開催させて頂いた2回目の基礎講座には、より多くの人々に参加をして頂き、講師の先生を始め、スタッフの先生方のおかげで、実り多き講座になりました。今後は支部内の教人、ようばく、信者の皆様を始め、未だ道のみ教えに触れておられない方々にも呼びかけて、大いに盛り上げて行きたいと思案を致しております。

天理時報手配り10年ひのきしん者感謝の集い

時報手配り活動に携わる教友が、一堂に会し、これまでの感謝とお礼を込めて、おつとめをし、真柱様からお言葉をいただきます。手配りひのきしん者が、各家庭に、風雨の中も、雪の日も、読者の笑顔を思い浮かべて、歩いて、自転車、車でお届けする。教祖の温かいお言葉が、家庭の明るさとなって滲み出る。そのつながり、絆を確かめ、明日の活動の力にしよう。秋季大祭の前日です。是非とも参加して心の糧を頂きましょう。

10月25日午後1時、東礼拝場。ハッピー着用。

新会長さん紹介

(平成29年6月26日お運び)

室蘭支部

北園分教会 (郡山)

奉告祭 平成29年9月3日



高橋 保治 氏 (44歳)

天塩支部

福北分教会 (白羽)

奉告祭 平成29年8月13日



川 透 氏 (53歳)

▼函館支部総会

5月9日松風分教会を会場に函館支部管内教会長夫妻、前教会長夫妻、布教所長夫妻、支部役員、60名が参集し函館支部総会を開催した。晴天の御守護のもと、雅朋会の奏楽の中、午前9時30分より開会、祭儀式、座りづとめ、てをどり(4交替)を陽気につとめた。引き続き支部長の講話を拝聴し、続いて教



区支部の諸連絡があり閉会。その後の直会は婦人会が司会進行をつとめ、余興ビンゴ等を楽しみ親交を深めた。

(水島弘司)

※お詫び 函館支部総会記事の掲載が遅れましたことをお詫び申し上げます。 教区報編集部

▼上川支部総会

上川支部では、7月9日、永山分教会を会場に、支部総会を



開催した。

座りづとめから6交代でおつとめを勤め、総会式、各部連絡の後、記念講演に村田和香先生(所沢市分教会長夫人)をお迎えして、絵物語シアター 紙芝居「おやさま」を、約1時間、4部作にわたって講演頂いた。村田先生自ら制作された色鮮やかな原画に合わせ、心のこもったお話と効果音に、教祖ひながたを今に彷彿とさせる、感動の時間でした。

昼食時には、青年会、学生会、少年会、女子青年による、「ここにバンド」の演奏と、参加者には、女子青年手作りの、教祖のおこぼれ入り葉が配られた。

第16回ままつぶの集い

教区婦人会(山本亨子主任)は、7月16日午前10時より第16回ままつぶの集いを開催。参加者・スタッフ等計94名が教務支庁を会場に集った。

座りづとめした後、教区婦人会主任の挨拶。その中で「マザー」という母親の苦労と喜びを紹介しているビデオと跳び箱を飛ばない園児をクラスのみんなが応援し見事クリアする感動のビデオ



を鑑賞。その後ミニトークやリズムゲームなど有意義な時間を過ごした。

昼食後は、母親講座の案内があり、スイーツを食べながら信仰や子育て、生活等の話題を練り込んだすごろくをして交流を深める貴重な楽しい一日を過ごした。

参加者25名、子ども47名常任委員・ひのきしん者22名

おしらせ

◎青年会緑化ひのきしん

立教180年9月9日午前9:00 集合・受付、あぶた「コミュニケーションセンター」【昨年と場所が違います。】 (前日より宿泊可能)

◎学生会「まなびば」

開催のお知らせ

日時 9月16〜17日教務支庁

◎第12回「教区音楽祭」

―音楽でつなぐ心の絆―

日時 10月1日(日)

午後1時開演

場所 北海道教務支庁

(入場無料)

計報

・印銀晴恵様 7月16日出直 (95才)

・茂廣分教会前会長夫人 (十勝支部)

・池本うめ様 7月20日出直 (95才)

・十陽分教会前会長夫人 (十勝支部)

・澤田サヨ様 7月21日出直 (90才)

・豊孝分教会長 (札幌白豊支部)

・佐々木ツル様 7月21日出直 (99才)

・琴似分教会前会長夫人(札幌北西支部)

・田中昭代様 7月24日出直 (90才)

・天志分教会前会長夫人 (空知支部)

北海道教務支庁日誌抄

(7月19日〜8月18日)

7月 19日 青年会

布教の体験

22日 教区合唱団 練習日

26日 本部月次祭選擇式

28日 図書修理会

29日 布教の家祭祭

4日 任命願書発送

6日 たすけ推進会議

7日 支部長会議

10日 事情願書発送

17日 教区報編集会議